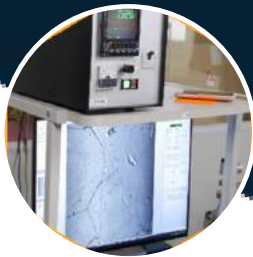


超高温の世界を、 高解像度で In situ観察 (その場)



高解像度 In situ観察
超高温下の
高分解能画像を取得



多様な観察条件を実現
最高1800°Cの
急速昇温・急速冷却



優れた操作性・制御性
温度と正確にリンクした
高速画像取得

米倉製作所を代表する加熱観察IRイメージ炉に、デジタルバイオレットレーザー顕微鏡を搭載。最高1800°Cの超高温環境下での鮮明なマイクロ観察を可能にしました。

従来機と比べ、解像度・明るさが約2倍に向上し、高倍率、高コントラストでの観察像が得られます。

鉄鋼、非鉄金属、セラミックス、二次電池等の高温下における微細構造挙動の研究、材料開発にご活用ください。

* 当社従来型の「VL2000DX-SVF17SP」と比較

【観察事例】

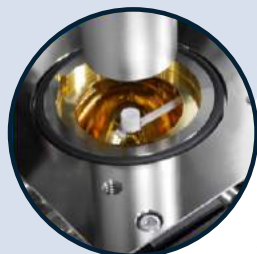
NIの加熱観察像（対物レンズ50X、モニタ倍率約3000倍）
温度変化による組織変化、相転移の様子が鮮明に観察できます。



高解像度 In situ観察

超高温下の高分解能画像を取得

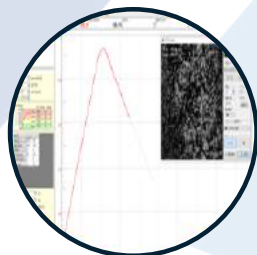
コンフォーカルレーザー顕微鏡を使用することで、高温時のサンプルからの放射光等の影響を受けず観察ができ、超高温下でも常温時と同様の高倍率、高コントラストで、より鮮明な画像が得られます。新型レーザーヘッドの採用で、当社従来型の「VL2000DX-SVF17SP」と比べて解像度が向上しました。



多様な観察条件を実現

最高1800°Cの急速昇温・急速冷却

加熱装置は真空チャンバー構造で、到達真空度は 10^{-3} Pa、真空中、不活性ガス、還元雰囲気にも対応しています。1500°C/Secで最高1800°Cまでの急速昇温、急速冷却が可能です。オプションの負荷機構モジュール「SVF12FTC」を利用することで、高温下で応力負荷中（最大5kN）の観察も行えます。



優れた操作性・制御性

温度と正確にリンクしたデータを記録

温度制御ソフト「HI-TOS（ハイトス）」で、実温度をリンクさせた動画を記録します。コンフォーカルモードでは、最速15FPSで画像をサンプリング。瞬間の微細な変化もとらえ、温度データを完全に同期して記録します。優れた温度制御で、 $\pm 1^\circ\text{C}$ 以内のプログラムが可能です。

【仕様】

※仕様は予告なく変更する可能性があります

システム名	VL3000DX-SVF18SP		
構成	レーザーヘッド VL3000DX	レーザー光源	405nm
		倍率	対物5X 1500×1500μm 対物10x 750×750μm 対物20x 375×375μm 対物50x 150×150μm
	加熱装置SVF18SP	ズーム機能	1x~8x
		加熱温度	MAX1800°C
加熱速度		500°C/min	
オプション	加熱負荷装置SVF12FYC	サンプルサイズ	Φ9xh5mm（セル内にて加熱）
		加熱温度	MAX1200°C
		負荷荷重	引張5kN 圧縮2kN サイクル可能

さまざまな製品・条件など、ご要望に合わせて設計いたします。

株式会社 米倉製作所

本社 〒554-0024 大阪市此花区島屋4-4-3
TEL:06-6464-6066 FAX:06-6462-2128

横浜事業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-11-5
TEL:045-472-7066 FAX:045-472-7061



お問い合わせ先